

プリンス&スカイライン ミュウジアム 開館20年記念企画 サマーフェスティバル開催ルポ

8月6日(土)P&Sミュウジアム開館20年記念のサマーフェスティバルが、初のR35GT-Rオーナーズクラブとのコラボ・イベントとして開催されました。歴代のスカイラインでぎっしり埋まるいつもの駐車場に加え、特別に用意された特設駐車場は、NISSAN GT-Rで埋め尽くされまさに壯觀。全国から集まられたファンの皆さまは400名を越えました。



スペシャルゲスト 田村 宏志 氏 (日産自動車株式会社 GT-R/Fairlady Z CPS)

ゲスト 伊藤 修令 氏 (プリンス&スカイラインミュウジアム館長)
渡邊 衡三 氏 (プリンス&スカイラインミュウジアム顧問)
福崎 隆司 氏 (元日産プリンス自販企画部宣伝課 総括)
MC 佐藤 恵 嫣 (日産自動車Web ダッシュボードMC)

上記の皆様を迎えて、タイトルは題して

"From SKYLINE GT-R to NISSANGT-R"

午前の部は、「スカイラインGT-R から NISSANGT-Rへ」のテーマで開催。

福崎氏がモデレーター役を務め、前半はQ&Aを含めてなごやかに進行。
田村氏がスカイラインGT-R 50勝の瞬間をFISCOで生観戦して日産入社を決意。
日産入社後は、櫻井氏が創設したオーテックジャパンに自ら志願して出向、ステルビオ等を開発。日産復帰後は、R34GT-RのMスペック等の開発にも携わられた。
ハコスカで目覚め、オーテックで櫻井氏の元で学び、伊藤、渡邊氏の元で育ったという歴代GT-R開発責任者4人のつながりが、素敵なエピソードと共に明らかにされました。



後半は、NISSAN GT-Rに至る、3世代にわたるGT-Rの系譜を紐解きました。
S54BからR380の血統を継いで、海外の強豪撃破に向け、国内最強を目指した初代スカイラインGT-Rを含む、第1世代スカイラインGT-R。

日産が90年代世界No.1を目指した901プロジェクトを背景に、世界最強を目指し、グループAのレースで全戦全勝(28戦28勝)というR32GT-Rをはじめ、輝かしい戦績を残したR33、R34の第2世代スカイラインGT-R。

そして、ルノーとのアライアンスの中で日産のフラッグシップカーへとシフトした第3世代NISSAN GT-Rに至る軌跡が、貴重な当時の資料と共に明らかにされました。

午後の部は、「NISSAN GT-R 17年モデルの到達点」のプレゼンテーション

田村CPS(チーフ・プロダクト・スペシャリスト)のプレゼンテーションが、ご自身が国際試乗会でニュルや、アウトバーンで17年モデルを試乗済みのMC 佐藤姫との軽妙な掛け合いの中でおこなわれました。

グローバルスタンスで、世界に対する日産のフラッグシップ・カーヘシフトした第3世代のGT-R。2007年のデビュー以来、ほぼ毎年新たな新技術をレース経験などより取り入れ、常に走りを進化させてきたNISSAN GT-R。さらに先月、7月11日発表、27日発売に発表されたばかりの最新のNISSAN GT-R 2017年モデルを紹介いただきました。

車造りの思想や、Mスペックにルーツを持つ車の在り方、モータースポーツに向けたNISMO等、17年モデルのスタンダードと共に、走りに純化したNISMOの17年モデルも詳細に。

さらには、ニュルのタイムアタックや、ギネスの世界記録に認定されたドリフトチャレンジ時など、様々なトークショーならではの裏話もご披露いただきました。

今回、日産自動車のご協力で最新のNISSAN GT-R MY17を3台展示いただき、来場者は、興味深げに説明員から話を聞きながら最新モデルに魅入ることができました。

さらには、初のコラボ・イベントとしてミュウジアム協力5クラブに加えて、特別にR35GT-Rオーナーズクラブの皆さんにもご協力いただきました。どうもありがとうございました。



写真右は、トークショー終了後、来場者の拍手に送られながら、スーパーGT選手権第5戦の会場FISCOに向かう田村CPS。翌日の決勝ではカルソニックGT-Rがポールツーウインで優勝。これでGT-Rは開幕4連勝(阿蘇サーキットの第4戦は熊本地震の為、中止)の快進撃。今後、益々の活躍を期待したいところです。頑張れ、GT-R！！